

水準、投資を明確化

足立議員 インフラ整備で言及

また、同委員会の中で、足立敏之参院議員は、インフラの整備に関する計画について質問した。足立議員は諸外国と比較した日本のインフラ整備の状況を示した上で、「今後どの程度の水準までインフラ整備を進める必要があるのか、そのための投資はどの程度必要なのか明らかにする必要がある」と指摘。日本の高速道路の完成計画や将来の鉄道ネットワークの姿、温暖化に備えた治水対策のあり方な

どの必要な水準を踏まえた計画を示すべきだと訴えた。写真。

答弁に立った石井啓一国土交通相は、「インフラ整備には長期的な視点が必要であるが、それとともに人口動態や財政状態、ライフスタイル、気候変動、技術革新などインフラを取り巻く状況変化を踏まえた取り組みが求められる」と回答。

その上で、「国民の安全・安心の確保や活力のある経済



社会の構築が図られるようインフラの整備に関わる計画について、今後とも必要な見直しを行い、その時点において必要なインフラ整備をしっかりと進めていく」と応じた。